

大阪市立 三先小学校

所在地 〒552-0016 港区三先2丁目6番32号

TEL 06-6571-0019

FAX 06-6572-2469

校長名 棚宜田 陽子 (ねぎた ようこ)



学校の紹介・校長メッセージ

本校の教育目標は「すべての子どもの豊かな育ちを育む～元気いっぱい三先っ子～」です。この教育目標の実現に向けて、めざす子ども像を「人を大切にする子」「自分の考えをもつ子」「自分を表現する子」「チャレンジする子」とし、知・徳・体のすべての教育活動を進めています。

特に、元気な体をつくるには、日常的に運動することが大切です。三先小には、すべり台や丸太橋を備えた三先山があり、講堂（令和6年8月下旬完成予定）にはボルダリングがあります。他にも雲梯、のぼり棒、バランスボード、一輪車、竹馬など、子どもたちがわくわくする環境がたくさんあり、休み時間は、子どもたちの歓声でいっぱい

です。また、水泳の授業では音楽を取り入れ、楽しみながら泳ぐ力を身につけさせる指導を行っています。さらに、体幹トレーニングやビジョントレーニングを取り入れた三先エクササイズにも取り組んでいます。

これらの取り組みにより、子どもたちの体力・運動能力の向上はもとより、集中して話を聞く態度や学び続ける姿勢が育まれ、学力の向上にもつながりつつあります。さらに、本年度は研究テーマを「自分の考えをもち、表現する力の育成」として、学力向上を目指し、全教員で授業研究に取り組んでいます。

日々の学校の様子については、学校ホームページで紹介していますので、ぜひご覧ください。

学校教育目標

すべての子どもの豊かな育ちを育む

めざす子ども像

人を大切にする子 自分の考えを持つ子
自分を表現する子 チャレンジする子

運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査において「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 年度末の校内アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と回答する割合90%以上を維持する。
- 小学校学力経年調査における、「自分には、よいところがあると思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- 年度末の校内アンケートにおいて、「学校に行くのが楽しい」と回答する割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

(小学校学力経年調査における)

- 国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。

- 算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を45%以上にする。
- 「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合70%以上を維持する。
- 「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合80%以上を維持する。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕
- 教員の児童・生徒のICT活用を指導する能力に対する肯定的な回答の割合を85%以上にする。

●令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

平均正答率(%)	
国語	算数
62	56

〔国語〕
領域別で見ると、「情報の扱い方」がほぼ全国・大阪市平均となっている。また、「言葉の特徴や使い方

に関する事項」「話すこと・聞くこと」「読むこと」については、全国差が4～5ポイント内であるのに対し、「書くこと」が、-10.9ポイントとなっている。令和3年度に課題となっていた「読むこと」「話すこと・聞くこと」については、令和4年度より研究領域を「読むこと」とし、学力向上支援事業を活用して指導者を招へいたこと、また、授業におい

て「話す・聞く」活動を日常的に取り入れる授業づくりを進めたことにより、一定の成果が見られた。一方で、「書くこと」が課題となっているため、今年度の研究および学力向上支援事業を活用し、改善に取り組んでいく。

〔算数〕
領域別で見ると、「数と計算」「図形」「変化と関係」の全国差が-5ポイント台であり、「データの活用」については-9.4ポイントとなっている。また、「知識・技能」より「思考・判断・表現」に係る問題の正答率が低いことから、課題に向き合い思考力を高める授業改善が必要である。

●令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点
男子	17.12	16.54	36.42	33.73		9.95	134.29		
女子	18.09	17.90	41.52	35.24		9.58	130.00		

※講堂建て替え工事のため、「20mシャトルラン」「ソフトボール投げ」は未実施

・講堂の建て替え工事中で運動場も狭くなっているため、十分に運動できる環境にない状態の中、授業等の工夫で運動の機会を持つようにしている。

・男子は「握力」「長座体前屈」において大阪市平均、全国平均を上回る結果となった。この2つの調査は、昨年度も大阪市平均、全国平均を上回っている。

・女子は「握力」「長座体前屈」「50m走」において大阪市平均、全国平均を上回る結果となった。「握力」「50m走」は、昨年度も

大阪市平均、全国平均を上回っている。

・児童質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答について、「好き」と回答する男子の割合は、大阪市平均より11.2ポイント下回り、女子の割合は、大阪市平均より5.9ポイント上回っている。

・「1週間の総運動時間が60分未満の児童」の割合は、男子が大阪市平均より0.9ポイント下回り、女子が大阪市平均と同じポイントとなった。

未来にはばたく三先っ子の育成～特色ある教育活動～



▲全校スマイル体操



▲三先エクササイズ



▲全校遠足



▲ピロティ遊びコーナー



▲三先山



▲たて割り班活動



▲ボルダリング



▲三先防災の日



▲地域の方との公園清掃